

しいたけ 栽培技術情報 No. 5

秋子の生産に向けて発生操作を！

これから気温が低下するにつれて、徐々に中温菌から低温菌へと発生が始まりますので、気温の低下や降雨などのタイミングを逃さずに作業を進めてください。

なお、発生操作とは、ホダ起し、移動、散水、積み替えなどにより刺激を与えて発生を促す作業のことです。

使用している品種の発生操作方法の確認を！

秋の発生のための低温刺激温度や発生形態（集中発生、だらだら発生等）は、品種によりことなります。

発生操作方法は、使用する品種により異なりますので、わからない時はメーカー等に問合せてください。

一般に、新ホダは、発生するための低温が数日続いた時にホダ起し（伏せ込み場からホダ場へ移動させる）を行って移動刺激を与え、発生を促します。

品種によっては、降雨時にホダ木の上部の木口面を叩いて発生が促進されるものもあります。

発生 2 年目以降のホダ木は、低温刺激に加えて、散水やホダ倒しを行って発生を促します。散水時間は品種により異なりますが、半日から丸一日散水を行います。

乾燥機の手入れを！

乾燥作業を行う前には、乾燥機の手入れを行ってください。

煙突、バーナーの状態、送油管や燃料タンクを点検してください。春子以降使用していない場合には、煙突に鳥が巣を作っていることがありますので、火災予防のためにも必ず除去してください。

なお、秋子は水分が多いために、乾燥に時間を要します。

原木の手配を！

購入する場合の原木は、既に手配されていることが望ましいのですが、もし、購入準備が遅れている場合には、早めに植菌計画を立てて準備を進めてください。